



SILENT *Guitar*[™]

Steel Strings Model

SLG200S

Nylon Strings Model

SLG200N

SLG200NW

取扱説明書

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manuale dell'utente

Manual de instrucciones

Manual do Proprietário

Руководство пользователя

使用说明书

사용설명서

日本語

English

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Русский

中文

한국어

JA	EN	DE	FR	IT
ES	PT	RU	ZH	KO

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お子様をご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源 / 電源アダプター

 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

 電源アダプターは必ず交流 100V に接続する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

 電源アダプターは、必ず指定のものを使用する。(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発火などの原因になります。

 電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きする。感電やショートのおそれがあります。

分解禁止

 この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

水に注意

 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。

 濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

電池

 電池を分解したり火の中に入れてたりしない。発熱、破裂、発火の原因になります。

 使い切りタイプの電池は、充電しない。充電すると液もれや破裂の原因になります。

 電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒を持ち運んだり、保管しない。電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。

 指定以外の電池は使用しない。また、種類が異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

 電池はすべて + / - の極性表示通りに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。

 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

 充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用機以外を使用すると、電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。

 電池は乳幼児の手の届かない所に保管する。口に入れてたりすると危険です。

 電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一、液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら

 使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター

⊘ タコ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

❗ 電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

⊘ 電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。

⊘ 電源アダプターは、布や布団で覆ったり、包んだりしない。

熱がこもり、ケースの変形や火災の原因になります。風通しのよい状態で使用してください。

❗ 電源アダプターで使用する場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。そのため、電池を入れたままにしておくと液もれの原因となります。

組み立て

❗ フレームの取り付けは、本取扱説明書9ページの「フレームの取り付け」の手順通りに行なう。

誤った手順で取り付けると、破損やケガをするおそれがあります。

❗ フレーム固定ネジはフレーム取付後、確実に締める。

ゆるんだ状態で使用すると、演奏時にガタついたり、雑音が発生したりする原因となります。

❗ 可動部を動かす際、指や手などをはさまないように、十分に注意する。

ケガをするおそれがあります。

運搬 / 設置

⊘ 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストープの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

⊘ テレビやラジオ、スピーカーなどの電気製品の近くで使用しない。

電気回路の影響により、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

⊘ 不安定な場所に立てない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

接続

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。

⊘ サイレントギターの出力端子(LINE OUTまたはPHONES)から送る音声信号を、直接、または外部機器を経由してサイレントギターのAUX INジャックに絶対に戻さない。

発振を起こし、内部機器破損の原因となります。

取り扱い

⊘ 弦交換や調整の際、顔に楽器を近づけない。
不意に弦が切れて目を傷つけるおそれがあります。

❗ 弦交換の際、弦を切る場合は、十分にベグ(糸巻)をゆるめてから行なう。

急激に弦のテンションが失われると、ネックにダメージを与えてしまいます。また、弦の跳ね返りにより、思わぬケガの原因ともなります。

❗ 弦を交換する際は、サドルやピックアップセンサーの位置がずれないように、弦を1本ずつ交換する。

サドル(下駒枕)の下には、弦の振動を拾うピックアップセンサーがセットされています。サドルが外れてしまった場合は、センサーの位置が動かないよう注意してください。また、サドルは1弦側の弦高が低くなる向きで取り付けてください。

⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。本体が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ツマミやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損する原因になります。

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドホン(イヤホン)を使用しない。
聴覚障害の原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

このたびは『ヤマハサイレントギター™』をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、静粛性・可搬性を重視したソリッドボディ構造であるにもかかわらず、『ギターのボディ共鳴音を高品位なマイクロフォンにてスタジオ録音したサウンド』をシミュレートするSRT POWEREDシステムによって自然な音と響きを実現した、全く新しいタイプのギターです。

製品の機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

* 『SILENT guitar™』『サイレントギター™』および SILENT *Guitar* のロゴはヤマハ株式会社の登録商標です。

目次

安全上のご注意	2
本体 / 付属品	5
本体各部の名称	6
フレームの取り付け	9
電源の準備.....	10
■ 電池を使うときは.....	10
■ 家庭用コンセントから電源を取るときは.....	10
チューナーの使用法.....	11
オートパワーオフ機能について	12
弦の交換	13
糸巻トルクの調整.....	14
トラスロッドの調整	14
本体仕様	15

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。ヘッドホンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

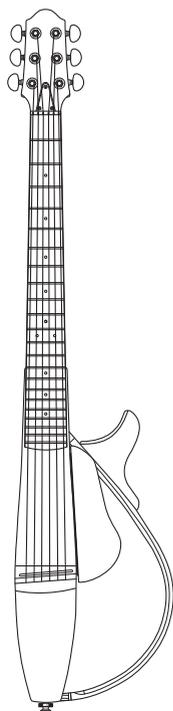
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本体 / 付属品

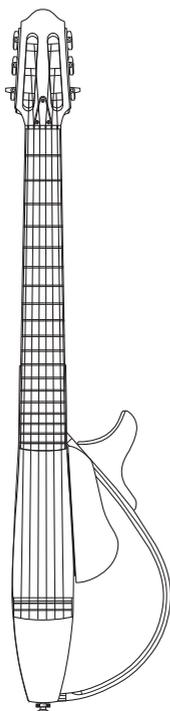
パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

- 本体× 1

[スチール弦モデル]



[ナイロン弦モデル]



- 着脱式フレーム× 1

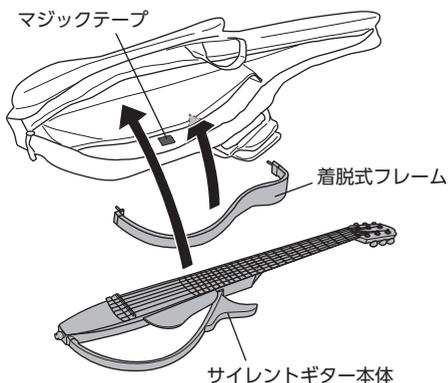


- ステレオイヤホン× 1



- ネック調整用六角レンチ× 1

- 専用ソフトケース× 1



サイレントギターをソフトケースに収納する場合は、サイレントギター本体から着脱式フレームを外し、左図のように分けて入れてください。

※ 着脱式フレームはケース内のポケットに入れ、マジックテープをしっかりと止めてください。

※ ソフトケースに入れた状態で横に置く場合は、指板面を上側にしてください。

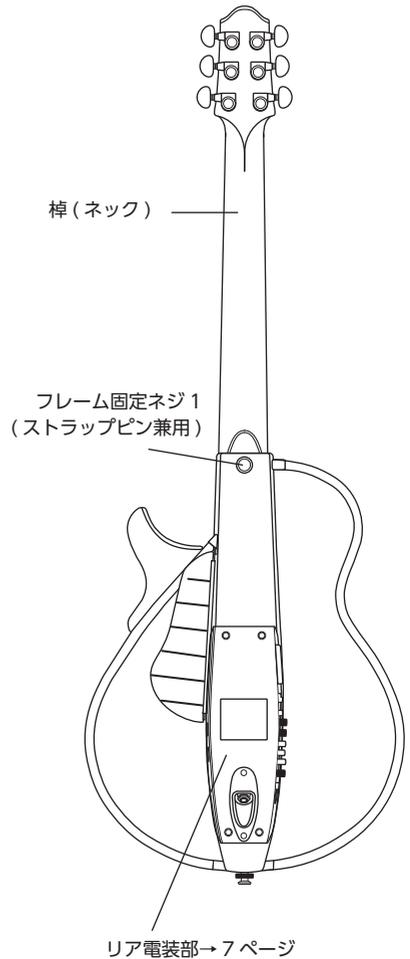
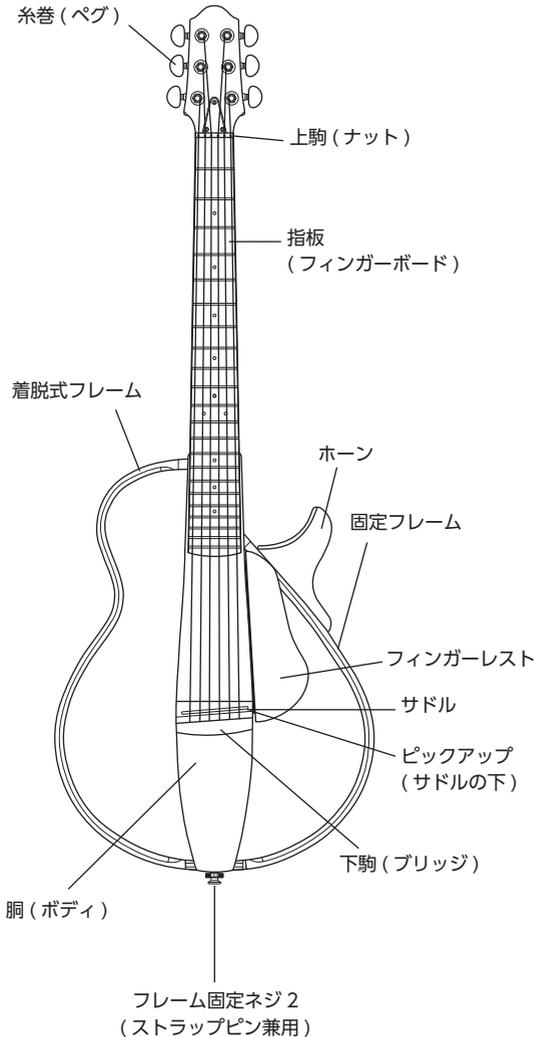
ソフトケースは、各 부품の 損傷を 保障するものではありません。

ソフトケースは、あくまで携帯しての移動用、および楽器をホコリなどから守るための収納ケースです。指板面を下にして置いたり、物を乗せる、ぶつけるなど、衝撃を与えることは避けてください。

本体各部の名称

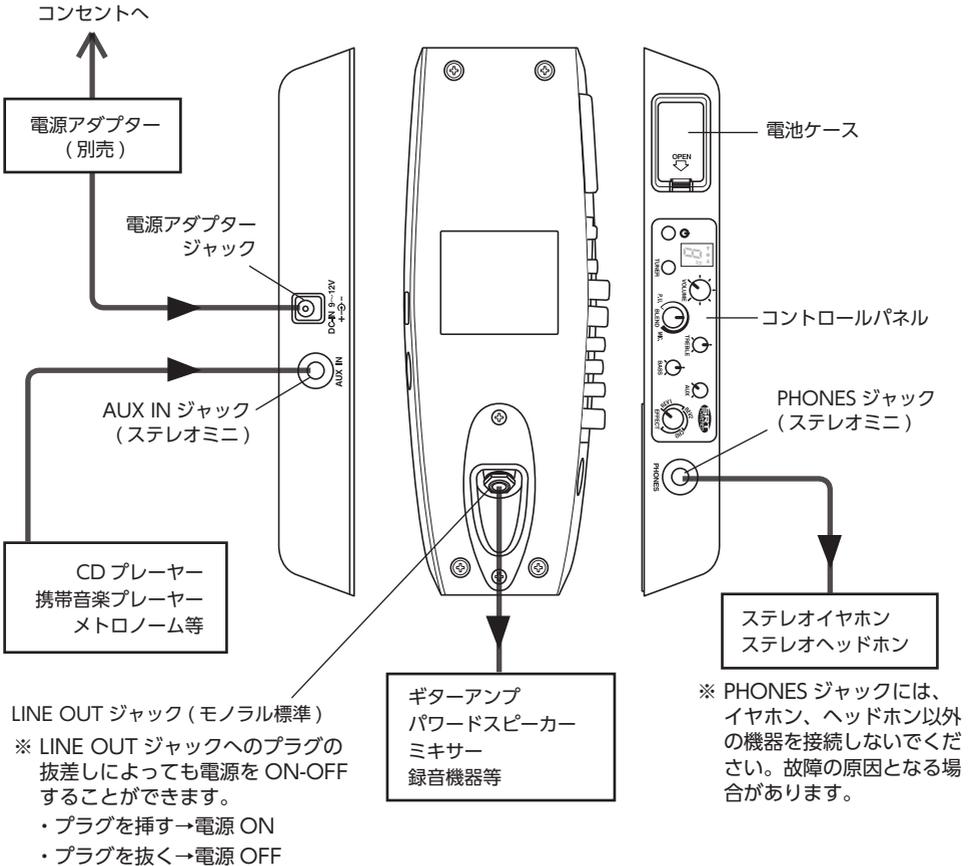
●フロント部

●リア部



イラストはスチール弦モデルです。(ナイロン弦モデルとは糸巻き、指板、下駒等の形状が異なります。)

●リア電装部



外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを用い、確実に接続してください。

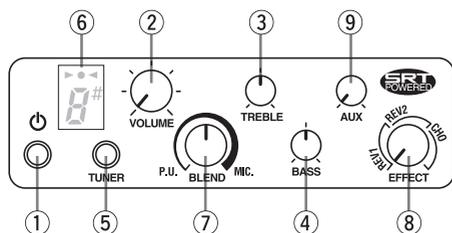


注意

- ・サイレントギターと外部機器の接続は、すべての機器の電源を切るか、音量を最小にした状態で行ってください。大音量による聴覚障害や機器破損のおそれがあります。
- ・サイレントギターの出力端子 (LINE OUT または PHONES) から送る音声信号を、直接、または外部機器を経由してサイレントギターの AUX IN ジャックに絶対に戻さないでください。共振を起こし、リア電装部破損の原因となります。
- ・大音量で長時間イヤホン、ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因となります。

本体各部の名称

●コントロールパネル部



① 電源スイッチ

サイレントギターの電源を ON-OFF するスイッチです。ON にする時は少し長め (0.5 秒以上) に、OFF にする時はさらに長く (1 秒以上) 押します。

※ 電源スイッチの他にも、LINE OUT ジャックへのプラグの抜き差しにより電源を ON-OFF することができます。(プラグを挿す→電源 ON、プラグを抜く→電源 OFF)



注意

- 電源の ON-OFF は、接続したギターアンプ・パワードスピーカーなどの出力ボリュームを絞るか電源を OFF にした状態で行ってください。
- 電源の ON-OFF は、必ずステレオイヤホンやヘッドホンを耳から外した状態で行ってください。

② VOLUME コントロール

音量を調節します。

※ 強く弾いた際に音が歪む場合は、VOLUME ノブを左に戻し調整してください。

③ TREBLE コントロール

高音域 (TREBLE) のレベルを調節します。

④ BASS コントロール

低音域 (BASS) のレベルを調節します。

③と④のツマミは、通常は図のようにセンターにセットし、必要に応じて増減させます。

⑤ TUNER スイッチ

チューナーの ON-OFF スイッチです。電源 ON 状態でこのスイッチを押すとチューナーモードに入り、もう一度押すとチューナーモードを抜けて元のプレイモードに戻ります。

※ チューナーモード時は、サイレントギターの音や AUX 入力された音は出力されません。

※ チューナーの使用方法については 11 ページをご覧ください。

⑥ ディスプレイ

チューニングの状態や電源 ON の確認、電池残量警告などを表示します。

電源 ON → (中央の緑丸ランプ点灯 ▶●◀)、
電池残量警告 → (三角形が交互点滅 ▶◻◀
⇄ ▶◻◀)

⑦ BLEND コントロール

ピックアップからの信号と SRT POWERED システムによりボディ共鳴がシミュレートされた信号とのミックス量を調節します。左いっぱいに戻すとピックアップからの信号 100%、右いっぱいに戻すとシミュレートされた信号 100% となります。

⑧ EFFECT コントロール

2 種類のリバースとコーラスエフェクトの切替えおよび掛かり量の調節を行ないます。図のようにツマミを左に回しきった状態でエフェクトは OFF になります。右に回していくとエフェクトの掛かり具合が増していき、次のエフェクトに切り替わった瞬間に、また掛かりの少ない状態となり、更に右に回すことでエフェクト掛かり量が徐々に増していきます。

● REV1: 室内で演奏しているようなりバース効果が得られます。

● REV2: ホールで演奏しているようなりバース効果が得られます。

● CHO: 2 本のギター、あるいは 12 弦ギターを弾いているようなコーラス効果が得られます。

⑨ AUX コントロール

AUX IN ジャックに入力された信号のレベルを調節します。

フレームの取り付け

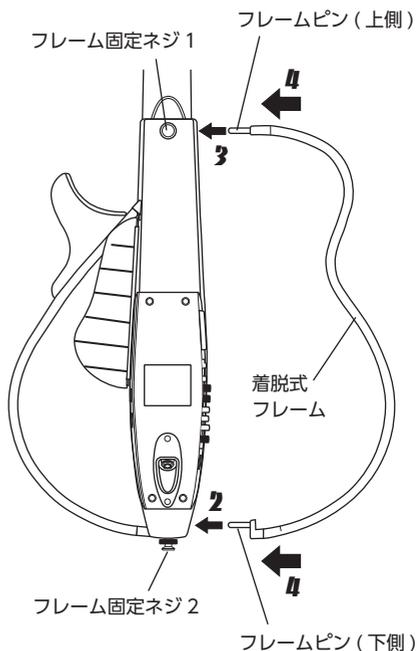
出荷時、着脱式フレームはサイレントギター本体から外してあります。
以下の手順で着脱式フレームを本体に正しくセットしてからお使いください。

1. 棹（ネック）ヒール部分付近にある「フレーム固定ネジ 1」と、本体最下部にある「フレーム固定ネジ 2」を十分にゆるめておきます。
2. まずフレームピン（下側）をギター本体の固定用穴に軽く差し込みます。
3. 次にフレームピン（上側）も固定用穴に軽く差し込み、その後着脱式フレームを上下均等に奥まで差し込みます。
 - ※ フレームの上下を間違えずに取り付けてください。
 - ※ フレーム着脱時に、フレームピンを曲げるような力がかからないように注意してください。固定ピン部分を損傷する場合があります。
4. 上下両方のフレームピンが確実に奥まで差し込まれていることを確認したら、それぞれのフレーム固定ネジを時計方向に回して、ギター本体に固定します。



可動部を動かす際、指や手などはさまないよう、十分に注意してください。

注意



これで、フレームの取り付けは完了です。

取り外す場合は、フレーム固定ネジ 1, 2 をゆるめた後、フレームをなるべく上下均等にゆっくりと引き抜いてください。

- ※ フレーム固定ネジ 1, 2 はフレーム取付後、確実に締めてください。ゆるんだ状態でお使いになると、演奏時にガタついたり、雑音が発生したりする原因となります。
- ※ 楽器の移動の際は、ネックおよびギター本体ボディを持ってください。フレーム部分のみを持って楽器を持ち上げると、フレームおよびフレーム固定部品損傷の原因となります。

■ ストラップピンについて

フレーム固定ネジは、市販のギターストラップを取り付けるためのストラップピンとして使用することができます。

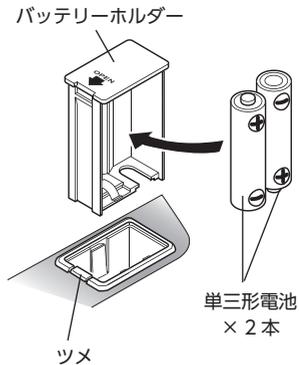
- ※ 演奏中に楽器が落下しないよう、ストラップはストラップピンに確実に取り付けてください。

電源の準備

サイレントギターは、電源として電池と電源アダプターの両方を使うことができます。電源の準備は、サイレントギターの電源が OFF の状態で行なってください。

電池を使うときは

1. バッテリーケースのツメを **OPEN** 表示の方向に押し、ロックを解除し、バッテリーホルダーを引抜きます。
2. 単三形のアルカリ電池またはニッケル水素電池 2 本を、ホルダー内部の表示に従い極性を正しくセットしてください。(イラスト参照)
3. バッテリーホルダーをバッテリーケースにはめ込みます。ロックされるまで、しっかりと押し込んでください。



●電池交換のタイミング

電池残量が少なくなると、ディスプレイの三角形の表示が交互に点滅 () しますので、お早めに電池を交換してください。ニッケル水素電池の場合、その製品の放電特性によっては正常に動作しない場合もございます。



- 電池は 2 本同時に交換してください。また新しいものと古いものを混ぜて使用したり、種類の異なるもの (メーカーの異なるもの、同メーカーでも商品が異なるもの) を混ぜて使用しないでください。発熱・液漏れ・破裂などの原因となります。
- 電池を分解したり火の中に入れてはいけません。
- ニッケル水素電池を繰り返し使用される場合、電池の被覆や端子を傷つけないようバッテリーホルダーへの挿抜は注意して行ってください。
- 電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れないでください。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- 電池は、自治体の条例または取り決めなどに従って廃棄してください。

家庭用コンセントから電源を取るときは

別売の電源アダプターをお買い求めください。(指定電源アダプター: PA-3C、PA-130(A, B))

1. 電源アダプターの DC プラグを、サイレントギターの DC IN ジャックに、確実に差し込んでください。
2. 電源アダプターの AC プラグを、家庭用 (AC100V) コンセントに差し込みます。



- 電源アダプターは、必ず指定のもの (指定電源アダプター: PA-3C、PA-130 (A, B)) をご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障・発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。



- 電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。電池の液漏れ防止の為、電源アダプターでご使用になる場合は、電池を本体から抜いておくことをお勧めします。

チューナーの使用法

1. 電源が ON の状態で TUNER スイッチを押すと、チューナーモードに入ります。
チューナーモードに入ると LED 表示が ▶●◀ のように点灯します (チューナー待機状態)。
2. 合わせたい音名がディスプレイに表示されるように、ギターをチューニングします。
※チューナー使用時は出力がミュートされます。
3. ▶◀ 中央の ○ だけ点灯すると、チューニングが合った状態です。



4. TUNER スイッチを再度押すと、プレイモードに戻ります。
※ TUNER スイッチを押した後、判別した音名を表示するまでに数秒かかることがあります。
※チューニングを連続的に変化させると、音名やマークの表示が音の変化に追従できないことがあります。チューニングの際は、段階的に音を調整、確認しながら行ってください。
※倍音を多く含んだ音や減衰の速い音については、測定できない場合があります。

●キャリブレーション (基準ピッチの変更)

チューナーの基準ピッチを A=438 ~ 445Hz の範囲で設定することができます (初期設定: 440 Hz)。

1. チューナーモードに入った状態で TUNER スイッチを約 1 秒以上押し続けると、現在の基準ピッチの下一桁の数字が 2 秒間表示されます。
2. 下一桁の数字が表示されている間にチューナーボタンを押すと、基準ピッチが 440Hz (初期値) → 441Hz → 442Hz → 443Hz → 444Hz → 445Hz → 438Hz → 439Hz → 440Hz → ... というように 1Hz ステップで切り替わっていきます。
3. 希望の基準ピッチを選択し約 2 秒間待つと、ピッチが確定されて表示が消え、通常のチューナーモードに戻ります。
※キャリブレーションの設定値は、電源を OFF にしても保持されます。

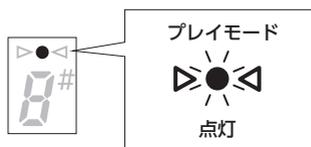
オートパワーオフ機能について

本製品には、無駄な電力消費を防ぐため、30 分間以上無音状態が続いた場合、自動的に電源が切れる (オートパワーオフ) 機能が内蔵されています。オートパワーオフ機能により電源 OFF となった場合でも、再び電源スイッチを押せば通常通りに使用可能です。

※ 出荷時はオートパワーオフ機能が ON (有効) になっています。

●オートパワーオフ機能 ON(有効)-OFF(無効)の確認

- ・ オートパワーオフ機能が ON (有効) の状態で電源投入 (LINE OUT ジャックにプラグを挿す、または電源スイッチを押す) した場合、すぐにプレイモードに入ります。(LED 点滅無し)



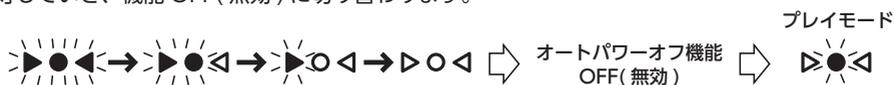
- ・ オートパワーオフ機能が OFF (無効) の状態で電源投入した場合は、TUNER LED が全部点灯した状態から 1 個ずつ消灯した後にプレイモードに入ります。



●オートパワーオフ機能 ON(有効)-OFF(無効)の切替え

電源 ON になっている (プレイモード) 状態で、TUNER スイッチを 2 秒以上押し続けると機能 ON (有効)-OFF (無効) の切替えができます。

- ・ 機能 ON (有効) の状態で上記操作を行なうと、TUNER LED が全部点灯した状態から 1 個ずつ消灯していき、機能 OFF (無効) に切り替わります。



- ・ 機能 OFF (無効) の状態で上記操作を行なうと、TUNER LED が 1 個ずつ点灯していき、機能 ON (有効) に切り替わります。



弦の交換

■ 弦交換時の注意



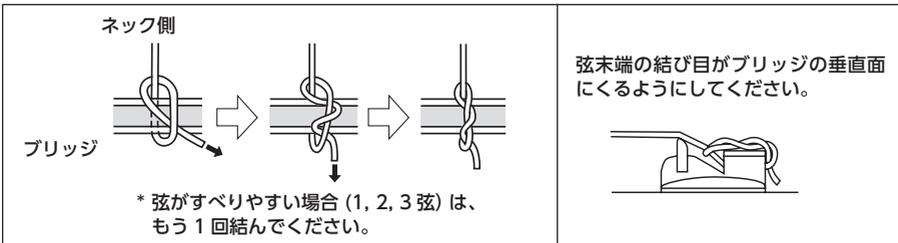
注意

- ・ 弦を交換するときや調整するときは、顔に楽器を近づけないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つける場合があります。また弦交換の際に、弦を切る場合は、十分にペグ（糸巻）をゆるめてから行なってください。急激に弦のテンションが失われると、ネックにダメージを与えるだけでなく、弦の跳ね返りにより、思わぬケガの原因ともなります。
- ・ サドル（下駒枕）の下には弦の振動を拾うピックアップセンサーがセットされています。弦を交換する際は、サドルやピックアップセンサーの位置がずれないように、弦を1本ずつ交換してください。もしサドルが外れてしまった場合は、センサーの位置が動かないよう注意してください。また、サドルは1弦側の弦高が低くなる向きで取り付けてください。

■ 弦の交換方法（ナイロン弦モデル）

弦を張る際は、以下の手順で行なってください。

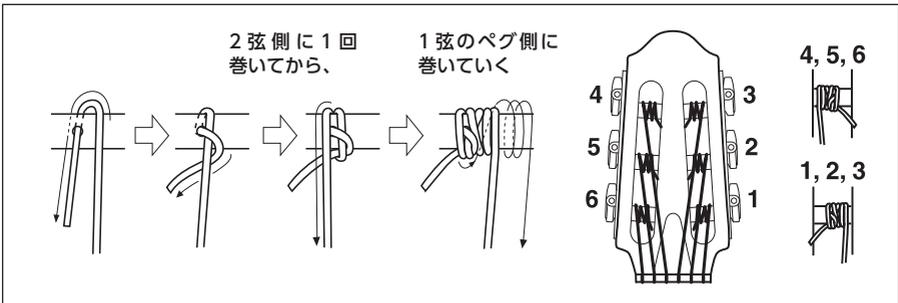
1. ブリッジ側で弦を巻きます。



2. 次にペグに弦を巻きます。

※ 下のイラストは1弦（2, 3弦も同じ）の場合です。4, 5, 6弦の場合は、左右逆に巻き付けてください。

※ 弦を張る際、ヘッドの木部に弦が接触しないようにペグ側の弦位置を調整してください。

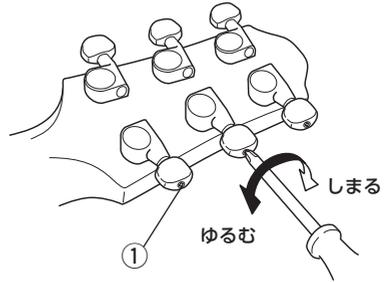


3. 弦を6本共巻き終えたら、内蔵チューナーや市販のギターチューナー、音叉などを用いて正しくチューニングしてください。

糸巻トルクの調整

糸巻の回転トルクは、右図のトルク調整ネジ①で調節します。(スチール弦モデル)

- ・トルクが弱く、演奏中にチューニングが下がってくる場合
→ 調整ネジ①を右に回す
- ・トルクが強く、チューニングがスムーズに行なえない場合
→ 調整ネジ①を左に回す



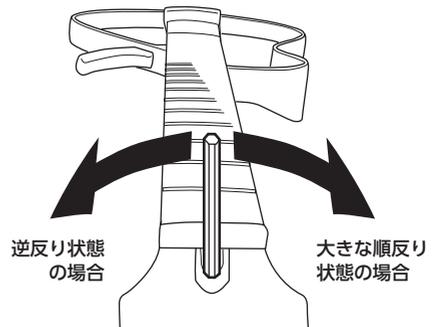
トラスロッドの調整

ネックの形状は僅かに順反りにになっているのが正常です。

時計方向にナットを廻すとトラスロッドが締め、大きな順反りになったネックを補正できます。

反時計方向にナットを廻すとトラスロッドが緩み、逆反りになったネックを補正できます。

反りは少しずつ調整します。ナットを一回につき半回転だけ廻し5分から10分置いてから形状をチェックすることを繰り返します。



Note: トラスロッドによる調整の経験が無い場合は、お買い上げの店に調整を依頼することをお勧めします。

本体仕様

棹	マホガニー
胴	マホガニー
指板	ローズウッド (SLG200S SLG200N)、エボニー (SLG200NW)
下駒	ローズウッド
フレーム	ローズウッド / メイプル
弦	フォークギター用スチール弦 (スチール弦モデル) クラシックギター用ナイロン弦 (ナイロン弦モデル)
センサー	ピエゾタイプオリジナルバーセンサー
コントロール	•電源スイッチ •TUNER スイッチ •VOLUME •TREBLE •BASS •BLEND (P.U. ↔ MIC.) •EFFECT (REV1 ↔ REV2 ↔ CHO) •AUX
入出力ジャック	•LINE OUT (φ 6.3 モノラル標準、出力インピーダンス: 1kΩ) •PHONES (φ 3.5 ステレオミニ、出力インピーダンス: 10Ω) •AUX IN (φ 3.5 ステレオミニ、入力インピーダンス: 2.2kΩ) •DC-IN
電源	電池: 単三形アルカリ電池 (LR6) またはニッケル水素電池 × 2 本 電源アダプター (別売): Yamaha PA-3C (日本でご使用の場合)、 PA-130 (海外でご使用の場合)、DC12V/700mA +  -
消費電力	2W (PA-3C 使用時)、0.8W (PA-130 使用時)、0.9W (PA-130A, B 使用時)
電池寿命	アルカリ電池: 約 22 時間 (連続使用時)
弦長	634mm (スチール弦モデル) 650mm (ナイロン弦モデル)
寸法	978 (L) × 356 (W) × 85 (H) mm (スチール弦モデル) 970 (L) × 356 (W) × 87 (H) mm (ナイロン弦モデル) * 着脱式フレーム取付、フレーム固定ネジ含む
質量	約 2.1kg

※ この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますよう、お願いいたします。

